

想い花咲き、
実を結ぶ

江戸
日本橋

初午めぐり

共通授与品

初午めぐり
記念ステッカー



1体500円

江戸時代、町々にあったお稲荷様は人々の大小さまざまな祈りを叶え、見守ってこられました。それは、現代も「江戸の中心地」日本橋で変わることなく息づいています。

お稲荷様にとって特別な日「初午(はつうま)」。春の陽気を感じ始める3月の初午(旧暦)にそれぞれの想いを胸に、日本橋のお稲荷さんを巡ってみませんか。

初午(はつうま)とは

お稲荷様にとって大事な日が「初午(はつうま)」と呼ばれる日で、江戸時代の「初午」は江戸っ子にとっても一大イベントであり、お詣りすることはもとより笛太鼓のお囃子やお神楽などが行われる華やかなお祭りとして町中が賑わったといわれています。

期間 令和7年

3/2

(日・旧初午)

?

3/26

(水・三の午)



デジタルスタンプラリー

江戸日本橋初午めぐり(3/2~3/26)開催中、全6社を巡拝するデジタルスタンプラリー(参加無料)を開催いたします。



初午めぐり公式HP

福德神社



宝くじ祈願、チケット祈願

860～876年頃に鎮座。徳川家康や徳川秀忠も参拝したことで知られる。江戸時代「富くじ」が行われていたことから、宝くじにご利益がある神社として知られる。

梶森神社



開運招福、商売繁盛、宝くじ祈願

創建は1,000年以上前。江戸時代には富くじ(宝くじ)が行われたことから、境内には「富塚」(石碑)が立ち、10月3日と毎月13日を「富の日」に当社にて制定。

笠間稲荷神社



長寿延命、五穀豊穰、商売繁栄

江戸時代の幕末に藩主牧野氏が茨城県の笠間稲荷の分霊をお屋敷の稲荷さまと合祀したのが始まり。以降、牧野家や日本橋の魚河岸の守護神として身分を問わず信仰を集めた。



江戸・日本橋 初午めぐり MAP

3月2日(日)～3月26日(水)

日枝神社



商売繁盛、学問向上、株価上昇

江戸城の鎮守として徳川家の崇敬が篤かったことで知られる日枝神社の摂社。江戸時代より山王祭の御旅所(おたびしょ)に定められている。

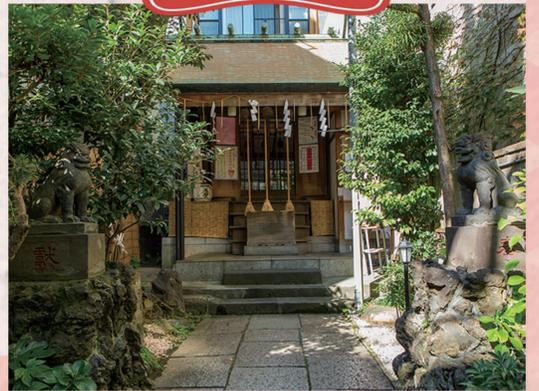
松島神社



商売繁盛、子孫繁栄、開運招福

創建は鎌倉時代以前。江戸時代には全国から職人が町に集まったため各地の神々を合祀し、大国主神をはじめ14柱を祀る。11月に開催される酉の市では多くの人で賑わう。

末廣神社



徳運向上、勝運災除、病気平癒

1596年以前に鎮座。幕府公認の遊郭(吉原)が開かれ、その後氏神として崇敬された。女性や子供、働く人々をお守りする養母世稲荷という女性の神様もお祀りしている。